

令和3年3月4日(木)午後3時より開催しました最終回となる第7回の委員会では、パブリックコメントで頂いたご意見に対する市教育委員会の考え方について説明を行い、意見交換しました。また、委員会からの答申について委員長から説明を行い、最後に委員の皆様からご感想を頂きました。

委員会終了後、出口委員長と松村副委員長が、「各務原らしい、市立ならではの強みを生かした学校になることを期待しています」と、加藤教育長に答申書を手渡しました。



### ○パブリックコメントで頂いたご意見について

基本構想・基本計画(素案)について、1月22日から2月12日までの期間で、パブリックコメントを実施しました。頂いたご意見に対する市教育委員会の考え方について説明し、意見交換を行いました。

#### ■委員からの主要な意見

- ✓ 特別支援学校に通わせることに抵抗のある保護者がいるのは事実である。特別支援学校への就学について、保護者や子どもを不安にさせることがないように意見や話を十分に聞いてほしい。
- ✓ 卒業後の支援など、市立ならではのセンター的機能の強化を進めてほしい。
- ✓ 就学先に対して心配を抱いている保護者や子どもがいて感じていた。この新しい学校ができることで、保護者や子どもに新たな就学先できることは利点であると思う。
- ✓ 市民の方々がとても熱心に新しい学校について、色々な意見を述べており、とても良いと感じた。
- ✓ 地域に開かれた学校とすることで、敷居や偏見がなくなるように、ソフト面を強化してほしい。
- ✓ 現各務原特別支援学校について、設立背景や思いを汲んでいただき、現各務原特別支援学校のように親しみやすく、地域に開かれた学校にしてほしい。
- ✓ 各委員や市民の方々に多くの意見を頂いたことを感謝したい。保護者からの強い願いのあった事業であり、整備に向けてこれからも委員や市民の意見を反映してほしいと思う。

### ○委員会全体を通して、委員の皆様からのご感想

- ✓ 市内に重度の知的障がいのある子どもが通える学校をつくって欲しいと訴え続けていたので、今回その願いが届き嬉しく思う。また、肢体不自由や病弱の子どもも受け入れられるので、ともに喜んでいる。障がい特性に合った学び、専門性のある教育が受けられるように整備を進めてほしい。
- ✓ 今後は、想定外のことにも柔軟に対応し、事業が滞ることなく進んでほしいと思う。
- ✓ 教員と子どもの関係以外にも保護者や地域の協力がなくては良い学校とはならないと思う。また、市内の小中学校に通う子どもと特別支援学校に通う子どもが交流できると良いと思う。

委員会の様子やかわら版のバックナンバーについて、市ウェブサイトにて公開中！  
QRコードはこちらから⇒



【お問合せ先】

各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進室

電話：058-383-7302(直通)